

(-)印は可類図書
(-)印は移管図書

[会計・監査]

よくわかる国際財務報告基準 (IFRSs) の実務ガイド

監査法人トーマツ 編 税務研究会出版局(*)

内部統制の本質と法的責任 内部統制新時代における役員の責務

コンプライアンス研究会 編著 木村圭二郎 監修 経済産業調査会(-)

資本会計の課題 純資産の部の導入と会計処理をめぐって

石川鉄郎、北村敬子 編著 中央経済社(-)

[経営]

経営意思決定 価値創造への経営工学アプローチ

日下泰夫 著 中央経済社(*)

学内機関誌から (233)

-論題紹介-

時価会計の是非についての考察—時価会計が金融機関、金融市場へ与える影響—

有岡律子 経済学論叢 (福岡大学) 53 巻 3・4 号

情報格差が利益マネジメントに与える影響—貸倒引当金設定における経営者の会計行動—

石椏義和 大阪大学経済学(大阪大学) 58 巻 4 号

わが国ストック・オプション制度の特質

三浦隆之 商学論叢 (福岡大学) 53 巻 4 号

生活用資産を巡る所得税法上の諸問題

神話の崩壊 (6)

祝物会計研究の回顧と展望 (4) —私の学問研究の軌跡「在外研究回想記 (その3)」—

富岡幸雄

企業会計制度の国際的コンバージェンスと税制の対応

阿部泰久

環境監査の進化と環境経営—ISO 14001 の情報開示と監査を中心として—

上田俊昭

会計システムの論理的評価方法

上田清貴

最近の会計基準の国際化と監査についての一考察

岡部 滋

会計基準変更が管理会計に与える影響

川野克典

虚偽記載の原因と内部統制

土田義憲

実質優先会計とプラグマティズム—「会計ビッグバン」の頓挫の背景を探る—

寺坪 修

連結会計主体論の再検討

村田英治

「資産除去債務に関する会計基準」の実証的研究—FAS 143 の背景と実施概況及び我が国の対応—

平島鹿蔵

250%定率法について—関数化による特質の把握と提起しうる問題点—

内倉 滋

価値会計としての時価会計—事象理論からのアプローチ—

孔 炳龍

ファイナンス・リースの法的性質から見た新リース会計基準及び適用指針の検討—借手側 (レシー) の処理をめぐって—

長島 弘

負債・資本の区分問題と資産負債観

中村英敏

セグメント報告基準と開示実践—IFRS 8 の公表をめぐって—

林 健治

システム—統合的マネジメントのための戦略管理会計にむけて—

浅田孝幸

品質コストマトリックスに関する一考察

井岡大度

自律的組織と活動基準予算との適合関係

伊藤克容

システム化における会計の限界とCEO、CIO、CFOの役割の重要性

小野 哲

予算参加とストレス変数との関係性分析の考察

志村 正

原価構造の変容と外部報告会計への影響にかんする一考察

高橋 賢

バランス・スコアカード研究の回顧と展望

安酸建二、乙政佐吉、福田直樹

大型家電販売業の経営分析—公表財務諸表と調整計算後財務諸表との比較経営分析—

横山和夫

ICT (情報通信技術) の利用による医事会計情報システムの一考察—特に新しい物流管理システム構築の課題—

大山政雄

財産法と損益法の系譜—「グッドウィル」と「買入暖簾」—

足立典照 (以上 31 件、経理研究 (中央大学) 52 号)